

2025 年度 自己点検・自己評価報告書

本学は、2020 年度から 2024 年度までの中期計画を策定し、引き続き 2025 年度から 2031 年度までの中期計画を策定した。

1. 中期計画の状況(初年度)

(1) 具体化した項目

①外部評価委員会の開催

外部評価員として、2 名の方を招聘し、まずは現状の説明を行った。

- ・ 斉藤繁委員より、入試関係について意見を頂いた。
- ・ 大桐規子委員より、看護カリキュラム等について意見を頂いた。

②短大の基本文書の見直し

- ・ 2026 年度学生便覧作成原稿において、2 学科の整合が取れるよう検討した。

③地域社会への一層の貢献

- ・ 看護学科が行うまちかど保健室活動は、みやぎ生協店舗・国分町サテライトにおいて、19 回開催された。
- ・ 鍼灸手技療法学科で、公開講座(全 2 回)を企画したところ、好評により募集数を超えたことより、追加で開講した。

(2) 未達成の項目

①短大財務状況の黒字化

2025 年度の短大の経常収支差額は、△13,989 万円の赤字であった。
新学科開設に伴う、設備・運転資金の増加が主因となっている。

②収容定員の確保

2025 年 5 月 1 日現在の学生数は、

- ・ 看護学科は、170 名であり、充足率は 70.83%であった
- ・ 鍼灸手技療法学科は、54 名であり、充足率は 108%であった。
- ・ 短大としては、在校生 224 名、収容定員 290 名、充足率 77.24%

③看護師国家試験合格率 90%以上の達成

新卒者の合格率は、83.1%であった

2. 2026 年度の目標

(1) 学生の収容定員の確保(入学者数の確保)

①看護学科の収容定員 240 名の確保

②鍼灸手技療法学科の収容定員 100 名の確保

(2) 国家試験合格率 90%以上の達成